



## 色彩館に咲く

### カルミア ラティフォリア *Kalmia latifolia*

ツツジ科カルミア属

自生地：メイン州からフロリダ州西北部に  
かけての北アメリカ東部



### 金平糖のような愛らしい蕾

一般にカルミアといえば本種を指し、高さ1～5mほどになる常緑低木または中高木で、多数の枝を出して上方が広がる樹形になります。主に岩や砂の多い森林に自生し、日本には1915年（大正4年）に渡来しました。花期は5～6月と開花期間が長いのが魅力で、つぼみは独特の突起があり可愛らしい金平糖のような形で、「花笠石楠花（ハナガサシャクナゲ）」とも呼ばれるのもうなづけます。花色は白、ピンク、紫などがあり、花の大きさも小輪から大輪など品種が多数あります。ツツジ属に似た星型の萼とつながった5枚の花弁をもっていて、直径は1～3cmになります。果実は5つの丸い突出部のあるさく果で、熟して実が割れると多数の小さな種子を出します。カルミア属の葉にはグラヤノトキシンが含まれていて有毒です。特に羊が中毒しやすく、一部の種はLambkill「羊殺し」と呼ばれているので注意しましょう。属名は、北アメリカの植物を収集し

この属を発見した18世紀のスウェーデンの植物学者ペール・カーム（Pehr Kalm）博士にちなみ命名されました。彼は生物の学名を属名と種小名の2語のラテン語で表す二名法（または二命名法）を体系づけたことで知られ、「分類学の父」とも称されるカール・フォン・リンネ博士の一番弟子であることでも知られ、北アメリカ探検の他多くの探検調査や北アメリカ植物誌の出版などの実績があります。

カルミア属はいずれの種も強健で水分を好み、乾燥を嫌います。日当りを好みますが、日陰地でもよく耐えます。開花後は花摘みをし、種子をつけない方が翌年の花付きは良くなります。北海道では越冬できないので鉢植えでの管理になります。色彩館では大温室で`オスボ・レッド`という品種を栽培しています。開花が始まる5月頃からは、温室でその愛らしい蕾を見つけた女性の「かわいい！おいしそう！」という声がよく聞こえてきますよ。

# ばら らろぐ



フロリバンダ系  
: 中心の蕾を取る



雪融けが早かった分、蕾が顔を出すのも早い今年。いよいよ待ちに待ったバラの開花の季節ですね。この時期の作業に「摘蕾(てきらい)」という作業があります。文字通り、不要な蕾を摘み取る作業ですが、主に一茎一花で楽しむ大輪系のハイブリッドティー系のバラに行います。中心の蕾だけ残し、脇から出た蕾は小豆大くらいの大きさになる頃に摘み取ります。また、中輪房咲きになるフロリバンダ系は蕾が小豆大になった頃中心の蕾を取ると他の蕾の開花が揃って房咲きをより楽しめますよ。お試しください。



## 色彩館

大温室では5月いっぱい楽しめたつるバラも落ち着き、今度はタイサンボクが大きな花を咲かせています。その他カルミアやミヤマホタルカズラなどが咲いています。

## バラ園



あっ・・・という間に開花！！今年は例年よりも開花が早まって、ハマナシ系は5月の下旬には蕾を持っていました。早い開花は良いのか悪いのか・・・さあ、忙しくなります。

## 花と緑の供給センター

いよいよ夏花の出荷が始まり、冬の間のがんばりの成果発表です。出荷が落ち着いたら色彩館の装飾やバラ園の装飾などの花の準備が忙しくなります。



## 陽炎の話



## ゆらゆら。

朝から天気の良い日は、ビニールハウスから陽炎が揺らめいています。

陽炎とは、熱せられた空気が立ち上る事によって、景色がゆらゆら揺れているように見える現象の事です。道路の向こうに水溜りのようなものが見える「逃げ水」という現象がありますが、こちらは曇気楼にカテゴライズされます。曇気楼は、光の屈折によって本来そこには無いものが見える現象だそうです。てっきり同じ現象かと思っていました。陽炎が立ち上るハウスの、側面のビニールを開けると、ハウスの中の熱気が陽炎を更に増量させ、我先にと外の空気に溶けてゆくを見送る事があります。まるで生命を持ち、凄まじいオーラを発しているかのように見えます。

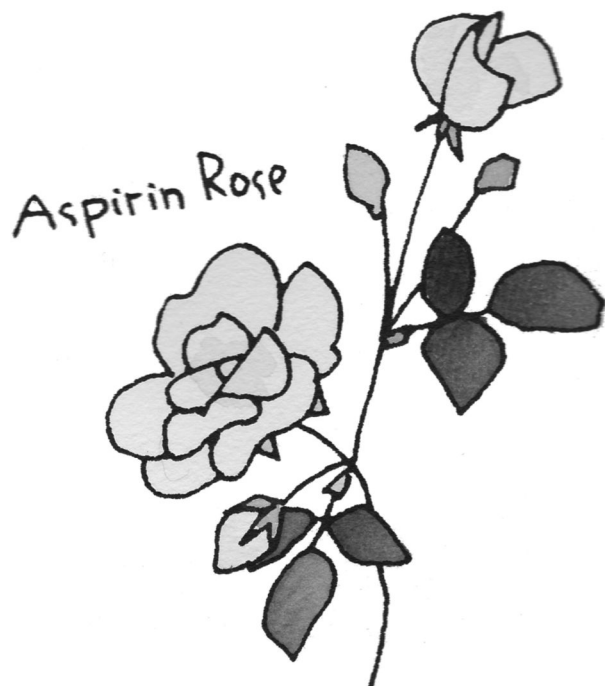
よし  
なし  
ごと

# ひとつき ひとバラ



文：新堂大樹  
(いわみざわ公園バラ園)

イラスト：藤川志朗  
(イラストレーター)



## 第十五回

フロリバンダローズ

### アスピリンローズ

Aspirin Rose

作出国：ドイツ

作出者：Tantau

作出年：1997年

ハーディネスゾーン：Z6

繰り返し咲き性

交配：RT 83-350 × The Fairy

中輪咲きの房咲き品種で一房に15～20輪花をつけ、花色は淡桃色～白色の半剣弁平咲きで、蕾はピンク色になりますが、開花すると白色に近くなります。一番花は限りなく白色に近く、秋になるにつれて薄いピンク色になっていきます。花付きがとても良く樹形は横張りでシュラブ状に生育し、耐病性も強く修景用にも利用することができます。

ドイツの製薬会社であるバイエル社が消炎鎮痛剤で知られるアスピリンの誕生100周年を記念して、アスピリンのイメージに合うような、白く強いバラを、ドイツの種苗会社であるタントウ社に育種を依頼し誕生したのがこのアスピリンローズです。香りは薬品のように強い香りがするわけではなく、残念ながら微香です。大変強健で優秀な品種で、人工殺虫剤を使用せず、一定

の生育をするかどうかを試験栽培して、花の美しさだけでなく耐寒性、耐病虫害性を重視する、世界でも難易度の高いドイツの「ADR賞」を1995年に受賞しています。当コーナーの第八回でも紹介した「ザフェアリー」が片親で、育種家がとにかく強い品種を作りたかったことが伺えます。

当園でも栽培しているアスピリンローズは、一昨年はネズミに食べられてしまった株が数株あり、昨年は少し寂しい株でしたが、今年はまた沢山咲いてくれるのではないのでしょうか。今年は雪融けが少し早かったので、例年の6月下旬から7月上旬の見頃より早くなり、6月中旬を過ぎる頃には咲いてくるのではないかと予想しています。夏と秋とではガラッと印象が変わるアスピリンローズ。まずは眩しい夏色の花を是非見に来てください。

# バラ祭り開催～！！

(仮称)

6月27日(土)～7月5日(日)

場所：いわみざわ公園バラ園

バラが満開の季節到来～ということで、バラ祭りを開催します！  
期間中はイベント盛りだくさん。\*予定は変更になる場合があります。

- ・バラ園スタッフによるローズツアー
- ・色彩館入館でバラのポッププレゼント(数量限定)
- ・自家製マルチング材の販売 ・フラワーマーケット …… などなど

その他、詳細が決まりましたら随時告知します。



## 藤川志朗「バラのイラスト展 2015」 今年も開催！

6月20日(土)～7月12日(日) 場所：バラ園旧緑のセンター 9:00～17:00

バラと宿根草などのイラストと、日々のスケッチ約50点を展示する。最終日はスケッチ教室も。展示作品やポストカードなどのグッズも販売しますよ。

## 6月の市民園芸講座のご案内

これは面白い！



- 6月7日(日) 13:00～15:00 寄せ植えで楽しむコンテナガーデン  
有料：2000円 定員：40名 講師：土谷美紀さん 恵庭サンガーデン
- 6月13日(土) 13:00～15:00 小品盆栽・苔玉の楽しみ方  
無料 定員：40名 講師：吉川茂さん 岩見沢樹石会
- 6月14日(日) 13:00～15:00 庭木・花木管理の基本  
無料 定員：40名 講師：川原元信さん (有)川原花木園代
- 6月20日(土) 10:00～12:00 ばらゼミ④バラの花後管理と夏越し  
無料 定員：40名 講師：工藤敏博さん ローズグロウー
- 6月28日(日) 10:00～12:00 バラの美しい写真の写し方  
無料 定員：20名 講師：若林信男さん ナチュラルリー写真家
- 7月5日(日) 13:00～15:00 バラ園のバラを使ったアレンジメント  
有料：1000円 定員：30名 講師：富井加代子さん フラワーデザイナー

編集・発行 空知リゾートシティ株式会社(いわみざわ公園バラ園指定管理者)  
お問い合わせ いわみざわ公園バラ園 室内公園「色彩館」 0126-25-6111